

## 国家水素ミッションの概要（2/17）

### ●経緯

インドの第75回独立記念日（2021年8月15日）に、モディ首相が「国家水素ミッション」を発足させた。このミッションは、政府が気候変動に関する目標を達成し、インドをグリーン水素のハブにすることを目的としており、2030年までに500万トンのグリーン水素を製造するという目標達成と、それに関連する再生可能エネルギー能力の開発に貢献するものとされ、具体的な中身が長らく待たれていたが、このタイミングで発表された。

### ●内容

- ① グリーン水素・アンモニア製造会社は、電力取引所から再生可能エネルギーを購入するか、自らまたは他の開発会社を通じて、どこでも再生可能エネルギー容量を設定することができる。
- ② 再エネのオープンアクセスによる購入は、申請書を受け取ってから15日以内に許可される。
- ③ グリーン水素・アンモニア製造者は、消費しきれなかった再生可能エネルギー電力を最大30日間、配電会社に預け、必要な時に回収することができる。
- ④ 配電事業者は、グリーン水素・グリーンアンモニアメーカーに対して、調達コスト、輸送コスト、州政府の定める若干のマージンを含む譲歩価格で再生可能エネルギーを調達・供給することができる。
- ⑤ 2025年6月30日以前に開始されたプロジェクトについては、グリーン水素・グリーンアンモニアメーカーに対して25年間の送電料金の免除が認められる。
- ⑥ グリーン水素・アンモニアの製造業者と再生可能エネルギープラントは、手続きの遅れを避けるため、優先的に送電網への接続を与えられるものとする。
- ⑦ 再生可能エネルギー購入義務(RPO)は、水素・アンモニアメーカーと配電事業者に、再生可能エネルギー電力消費のためのインセンティブとして付与される。
- ⑧ ビジネスのしやすさを確保するために、法的認可を含むすべての活動を時間的制約のある方法で行うための単一のポータルが新・再エネ省によって設立される。

⑨ グリーン水素・グリーンアンモニアの製造のために設置された再生可能エネルギー設備の州間送電設備への接続は、発電側とグリーン水素・グリーンアンモニア製造側で、優先的に許可されるものとする。

⑩ グリーン水素／グリーンアンモニアの製造業者は、輸出用／船舶用グリーンアンモニアの貯蔵のために、港の近くにバンカー（輸送用の小型タンカー）を設置することを許可されるものとする。この目的のための貯蔵用地は、各港湾局が適切な料金で提供するものとする。

<https://pib.gov.in/PressReleasePage.aspx?PRID=1799067>